



慰霊塔の前で記念撮影

## 女川元気会 第5回 慰霊の旅

9月30日～10月1日と1泊2日の日程で実施した今回の慰霊の旅には36人が参加。朝10時に仙台駅に集合、チャーターした黄金バスで途中石巻からの参加者をピックアップしながら女川へ。到着後各自お昼を食べ買い物などして2時からの懇談会の会場「まちなか交流館」に向かいました。

この日は、他所（よそ）から女川に来て活動している若者と、今もいのちの石碑建立運動に携わっている地元の高校生をゲストに迎えて、活動の内容と女川の魅力について話をさせていただきました。また、夜の懇親会では須田町長や木村議長、元気会と交流のある方々と夕食を共にしながら意見交換をしました。

2日目は、チャーター船で出島（いずしま）へ。地元の人たちの暖かい出迎えを受け、手作りのおにぎりや漬物などをいただきながら震災時の体験をお聞きし、改めて津波の恐ろしさを思い知らされました。懇談ののち、裏山のお寺の境内に建立されている「いのちの石碑」を見学してから女川港へ帰港。その足で慰霊塔を訪れ、照源寺住職と副住職による供養の読経に包まれてご焼香いたしました。昼食の後、買い物などしてから黄金バスで仙台へと帰途につきました。

震災後6年を経て復興も着々と進んでいる故郷・女川町。しかし、人々の心の傷は深く沈殿しているかのように感じました。また日に日に薄れそうになる震災の記憶をしっかりと脳裏に焼き付けておきたいという思いもあった旅でしたが、2日とも晴天に恵まれ、有意義な時間を過ごすことができたように思います。



まちなか交流館での様子



出島の人たち迎えられる



体験談を聞く